

## Part A: Raising Awareness for Strategy Use

### A.1 Brain storming, using the Japanese and English version of SILL and Vocabulary Introduction

目的:

各学生に自分の日本語の学習方法、その効果について考えさせるとともに、ストラテジーに関連する必要語彙、表現の導入。

教材:

OxfordのStrategy Inventory for Language Learning (SILL) の日本語版と英語版のハンドアウト

参考文献 : Oxford, Rebecca L. (1990). *Language learning strategies: What every teachers should know*. Boston: Heinle & Heinle.

時間 : 50分

手順:

1. Brain storming discussion (10分)

1.1. 「中級になると、教科書だけではなく日本人と話したり、日本の雑誌や本を読んだり、日本語のテレビを見たりすることが多くなります。そして、自分で勉強しなければならないことがたくさんあります。ですから、どうやったら日本語が効果的に勉強できるか話し合ってみましょう。」というような動機付けを行う。勉強の仕方について話し合うために必要であって、学生が習得していない単語や表現を日本語版SILLにあらわれる単語や表現を参照し、導入しながら、聞いていく。

例:

関連づける かんれん to make an association

推測する すいそく to guess; to conjecture

復習する ふくしゅう to review

予習する よしゅう to preview; to go over ahead of time

関係がある かんけい to have a relationship/connection

～ようにしている to make an effort to do ~

相手 あいて interlocutor

1.2. 4人一組のグループになり、いつも日本語をどうやって勉強しているか下の項目について話し合わせ、発表させる。教師は主なものを黒板に板書。その後、学生に効果的だと思われるものを言わせる。

単語 (Vocabulary)  
発音 (pronunciation)  
漢字 (Kanji)  
文法 (Grammar)  
会話 (Conversation)  
聞き取り (Listening)  
読み (Reading)

2. Introduction to SILL (15分)

- 2.1. ハンドアウトのSILLのInstruction、scoring sheet、そして、SILLの日本語バージョンを配る。Instructionの例をやってやり方の確認。
- 2.2. 日本語バージョンのPart Aを読ませる。ペアで漢字や意味を確認させ、分からない箇所があれば、アンダーラインを引かせる。
- 2.3. SILLの英語バージョンのPart Aを配付し、読ませる。日本語バージョンで分からなかった箇所の意味を考えさせ、意味が分かったら、余白にメモを書かせる。そして、scoring sheetに自分の点を書かせ、平均点も書かせ、scoringの仕方の確認。
- 2.4. 日本語版SILLを用いて、各人が良く使うストラテジーはどれか発表させる。

3. Pair work with SILL (25分)

- 3.1. SILLの日本語バージョンのPart BとCをパートごとに、ペアで読ませる。教師はこの際教室を回り学生の質問に答える。学生は分からないところにアンダーラインをし、意味を推測させ、「～は～といういみですか」等のconfirmation questionを通して意味や漢字の確認をする。どうしても分からないものは英語バージョンを見せて考えさせる。
- 3.2. Scoring sheetに記入。
- 3.3. ペアで、Part BとPart Cについて自分とパートナーが良く使うストラテジーあまり使わないストラテジーを日本語でお互いに言わせ、その後クラスで発表する。

宿題：

1. SILLの日本語版残りをやり、scoring sheetを完成させる。
1. SILLの結果を見て、自分のスコアの高かったもの(4か5以上)に丸を、低かったもの(2か1)にバツをつける。

## Handout: Strategy Inventory for Language Learning (SILL)

**Strategy Inventory for Language Learning (SILL): Version for Speakers Learning a New Languages**  
 Strategy Inventory for Language Learning Version 5.1 (c)R. Oxford. 1989

### Directions

The STRATEGY INVENTORY FOR LANGUAGE LEARNING (SILL) is designed to gather information about how you, as a student of a foreign or second language, go about learning that language. On the following pages, you will find statements related to learning a new language.

Please read each statement. On the separate answer sheet, mark the response (1, 2, 3, 4, or 5) that tells how true the statement is in terms of what you actually do when you are learning the new language.

1. Never or almost never true of me
2. Generally not true of me
3. Somewhat true of me
4. Generally true of me
5. Always or almost always true of me

Never or almost never true of me means that the statement is very rarely true of you ; that is, you do the behavior which is described in the statement only in very rare instances. Generally not true of me means that the statement is usually not true of you; that is, you do the behavior which is described in the statement less than half the time, but more than in very rare instances. Somewhat true of me means that the statement is true of you about half the time; that is, sometimes you do the behavior which is described in the statement, and sometimes you don't, and these instances tend to occur with about equal frequency. Generally true of me means that the statement is usually true of you: that is, you do the behavior which is described in the statement more than half the time. Almost or never true of me means that the statement is true of you in almost all circumstances; that is, you almost always do the behavior which is described in the statement.

Use the separate Worksheet for recording your answers and for scoring. Answer in terms of how well the statement describes you, not in terms of what you think you should do, or what other people do. Answer in reference to the language you are now learning (or the language you most recently learned). There are no right or wrong responses to these statements. Work carefully but quickly. You will score the SILL yourself using the attached Worksheet On the Worksheet.

### **EXAMPLE**

1. Never or almost never true of me
2. Generally not true of me
3. Somewhat true of me
4. Generally true of me
5. Always or almost always true of me

日本人と話すチャンスを多くするようにしている。(I actively seek out opportunities to talk with native speakers of the new language.) \_\_\_\_\_

You have just completed the example item. Answer the rest of the items on the Worksheet.

### Worksheet for Answering and Scoring

1. Write your response to each item (that is, write 1, 2, 3, 4, or 5) in each of the blanks, which are numbered to correspond to each item on the SILL.
2. Total each column and put the result on the line marked "SUM".
3. Divide by the number under "SUM" to provide an average for each column. Round this average off to the nearest tenth, as in 3.4. Because the only possible response for a SILL item is 1, 2, 3, 4, or 5, your average across items for each part of the SILL should be between 1.0 and 5.0. You can make sure your figuring is correct by checking whether your average for each part is within the range of 1.0 to 5.0.
4. Calculate your overall average. To do this, add up all the SUMS for the different parts of the SILL. This will give you the total raw score. Divide by 80, the number of items on the SILL. This will give you the overall average, which should be within the range of 1.0 and 5.0.
5. When you have completed this Worksheet, your teacher will give you the Profile of results on the Strategy Inventory for Language Learning (SILL). Transfer your averages (for each part and for the whole SILL) from the Worksheet to the Profile in order to obtain an interpretation of your SILL results.

Write your name, the date, and the language learned.

Your Name \_\_\_\_\_

Date \_\_\_\_\_

## SILL Worksheet (continued) Version 5.1 I (c) R. Oxford. 1989

<u>Part A</u>	<u>Part B</u>	<u>Part C</u>	<u>Part D</u>	<u>Part E</u>	<u>Part F</u>	<u>Whole SILL</u>
1. ____	16. ____	41. ____	49. ____	65. ____	72. ____	SUM Part A ____
2. ____	17. ____	42. ____	50. ____	66. ____	73. ____	SUM Part B ____
3. ____	18. ____	43. ____	51. ____	67. ____	74. ____	SUM Part C ____
4. ____	19. ____	44. ____	52. ____	68. ____	75. ____	SUM Part D ____
5. ____	20. ____	45. ____	53. ____	69. ____	76. ____	SUM Part E ____
6. ____	21. ____	46. ____	54. ____	70. ____	77. ____	SUM Part F ____
7. ____	22. ____	47. ____	55. ____	71. ____	78. ____	
8. ____	23. ____	48. ____	56. ____		79. ____	
9. ____	24. ____		57. ____		80. ____	
10. ____	25. ____		58. ____			
11. ____	26. ____		59. ____			
12. ____	27. ____		60. ____			
13. ____	28. ____		61. ____			
14. ____	29. ____		62. ____			
15. ____	30. ____		63. ____			
	31. ____		64. ____			
	32. ____					
	33. ____					
	34. ____					
	35. ____					
	36. ____					
	37. ____					
	38. ____					
	39. ____					
	40. ____					

---

SUM ____	SUM ____	SUM ____	SUM ____	SUM ____	SUM ____	SUM ____
/15 ____	/25 ____	/8 ____	/16 ____	/7 ____	/9 ____	/80 ____

(overall average)

## STRATEGY INVENTORY FOR LANGUAGE LEARNING

Read the item, and choose a response (1 through 5 as above), and write it in the space after the item.

## Strategy Inventory for Language Learning (SILL) 日本語版

1. ぜんぜんしない
2. あまりしない
3. 時々する
4. よくする
5. ほとんどいつもする

### パート A

新しい単語を勉強する時...

1. 新しく勉強することと知っていることを関連づけるようにしている。
2. 覚えるために、文の中で新しい単語を使うようにしている。
3. 単語をグループにわけるようにしている。(たとえば、食べ物や飲み物の単語など。)
4. 新しい単語の発音とよく知っている単語の発音を関連づけるようにしている。
5. リズムで覚えるようにしている。
6. 紙の上や頭の中に絵を書いて、覚えるようにしている。
7. 文字を覚えるようにしている。
8. 発音と文字をいっしょに覚えるようにしている。
9. 新しい単語に関係のある言葉を書いて、覚えるようにしている。
10. 新しい単語のあるページを覚えるようにしている。
11. フラッシュカードを使って、覚えるようにしている。
12. ジェスチャーで(体を使って)覚えるようにしている。

新しいことを勉強する時...

13. よく練習するようにしている。
14. 勉強や復習をした後で、少し時間がたってから、また練習するようにしている。
15. 前に勉強したことも復習するようにしている。

### パート B

16. 新しい言葉や表現を何度も言ったり、書いたりして覚えるようにしている。
17. 日本人の話し方をまねる(mimic)ようにしている。
18. わかるまで読むようにしている。

19. ドラフトは何度も書いて、直すなおようにしている。
20. 文字と発音をよく勉強するようにしている。
21. 決まり表現きひょうげんをたくさん練習するようにしている。
22. 知っている言葉を使って、いろいろな文を作るようにしている。
23. 日本語で自分から話すようにしている。
24. 日本語のテレビやニュース、ビデオを見るようにしている。
25. 日本語で考えるようにしている。
26. 日本語を話せるアクティビティーがあれば、行くようにしている。
27. 日本語で読んで楽しいものを読むようにしている。
28. 日本語で手紙、メモ、ノートを書くようにしている。
29. よく読む前にざっと読むようにしている。
30. 見たり、聞いたりしたことについて、細かいこまことを考えるようにしている。
31. 辞書や単語リストをよく使うようにしている。
32. クラスで日本語でノートをとるようにしている。
33. 新しく勉強したことについて要約ようやくを書くようにしている。
34. 日本語を使う時いっばんてき、一般的なルールを新しい状況じょうきょうでも使うようにしている。
35. 新しい言葉の意味が分からない時、自分が知っている部分ぶぶんをヒントにして考えるようにしている。
36. 日本語と英語の違っているところや、にているところを考えるようにしている。
37. 単語をいつも翻訳ほんやくしないで、分かろうとするようにしている。
38. 英語を日本語の中で使う時、気をつけるようにしている。
39. 日本語のパターンをよく考えるようにしている。
40. 日本語がどうやって使われているか、自分で考える。新しいことを習ったら、またそれを考えるようにしている。

### パートC

41. 意味いみが分からない時は、コンテキストを使って、推測すいそくするようにしている。
42. よく分からない単語を、辞書をあまりひかないで、読むようにしている。
43. 会話している時、相手がつぎに何を言うか、今までに言われたことを考えて、推測すいそくするようにしている。
44. 話していて、どう言ったらいいか分からない時、ジェスチャーや英語を使うようにしている。
45. どう言ったらいいか分からない時、相手あいてに聞くようにしている。
46. どう言ったらいいか分からない時、他の言い方ほかを考えるようにしている。
47. どう言ったらいいか分からない時、自分で単語を作るようにしている。

48. 自分の知っている単語の多いトピックについてだけ話すようにしている。

### パートD

49. そのレッスンについて、自分が知っていること、知らないことを考えて、<sup>よしゅう</sup>予習するようになっている。
50. だれかが日本語を話している時、他のことを考えないで、その人の話だけ聞くようにしている。
51. 自分が日本語のどんな部分に気をつけているか決めている。たとえば、日本語のリズムだけなど。
52. どうすれば日本語が上手になれるか、本を読んだり、<sup>ほか</sup>他の人と話したりしている。
53. テストがなくても、毎日、予定をたてて勉強するようにしている。
54. 勉強しやすい環境を作るようになっている。例えば、静かで、きれいな部屋など。
55. 自分にとって、大切な情報<sup>じょうほう</sup>をノートに書くようになっている。
56. 勉強の目的を決めるようになっている。例えば、どれだけ上手になりたいか、日本語をどうやって使いたいか、<sup>ちようきてき</sup>長期的な計画をたてている。
57. 毎日、毎週、日本語で何ができるようになるか計画をたてるようになっている。
58. 新しいタスク（例えば、スピーチ）をする前に、どんなタスクか、どんなことを知らなければいけないか、自分のレベルで何ができるかをよく考えるようになっている。
59. 日本語のアクティビティーの目的<sup>もくてき</sup>を考えるようになっている。（例えば、聞き取りをする時には、大きいトピックを聞くか、すべてを分かるようにするか。）
60. 日本語を勉強するチャンスをできるだけたくさん作るようになっている。
61. 日本語が話せる相手<sup>あいて</sup>をいつもさがすようになっている。
62. 自分<sup>まちが</sup>の間違いに気をつけていて、自分がどうして間違えたかよく考えるようになっている。
63. 自分の間違いから勉強するようになっている。
64. 日本語がどのくらい上手になったか自分でチェックするようになっている。

### パートE

65. 日本語を使う時、リラックスするようになっている。
66. もっとがんばれるように、自分で自分をはげますようになっている。
67. <sup>まちが</sup>間違いをこわがらないで、日本語を使うようになっている。
68. 日本語で何かよくできた時には、自分にプレゼントをする。
69. ストレスをおこさないようになっている。
70. 日本語の勉強について日記をつけている。



71. 日本語の勉強で困った時、だれかに話すようにしている。

パートF

72. わからない時は、日本人にゆっくりはっきり話して下さいと言うようにしている。

73. 自分の言ったことが分かったか、正しいかったか、相手に聞くようにしている。

74. 自分の発音を直して下さいと言う。

75. 他の人と勉強したり、練習したりするようにしている。

76. 会話パートナーがいる。

77. 日本人と話す時、日本人に助けをもらうようにしている。

78. 日本語で話す時、たくさん話すために、たくさん質問するようにしている。

79. 日本の文化についてよく勉強するようにしている。

80. 日本人の考え方や気持ちをよく考えるようにしている。

## Strategy Inventory for Language Learning Version 5.1 (c)R. Oxford. 1989

1. Never or almost never true of me
2. Generally not true of me
3. Somewhat true of me
4. Generally true of me
5. Always or almost always true of me

(Write answers on Worksheet)

### Part A

When learning a new word ...

1. I create associations between new material and what I already know.
2. I put the new word in a sentence so I can remember it.
3. I place the new word in a group with other words that are similar in some way.  
(for example, words related to clothing, or feminine nouns).
4. I associate the sound of the new word with the sound of a familiar word.
5. I use rhyming to remember it.
6. I remember the word by making a clear mental image of it or by drawing a picture.
7. visualize the spelling of the new word in my mind.
8. I use a combination of sounds and images to remember the new word.
9. I list all the other words I know that are related to the new word and draw lines to show relationships.
10. I remember where the new word is located on the page, or where I first saw or heard it.
11. I use flashcards with the new word on one side and the definition or other information on the other.
12. I physically act out the new word.

When learning new material...

13. I review often.
14. I schedule my reviewing so that the review sessions are initially close together in time and gradually become more widely spread apart
15. I go back to refresh my memory of things I learned much earlier.

## Part B

16. I say or write new expressions repeatedly to practice them.
17. I imitate the way native speakers talk.
18. I read a story or dialogue several times until I can understand it.
19. I revise what I write in the new language to improve my writing.
20. I practice the sounds or alphabet of the new language.
21. I use idioms or other routines in the new language.
22. I use familiar words in different combinations to make new sentences.
23. I initiate conversations in the new language.
24. I watch TV shows or movies or listen to the radio in the new language.
25. I try to think in the new language.
26. I attend and participate in out-of-class events where the new language is spoken.
27. I read for pleasure in the new language.
28. I write personal notes, messages, letters, or reports in the new language.
29. I skim the reading passage first to get the main idea, then I go back and read it more carefully.
30. I seek specific details in what I hear or read.
31. I use reference materials such as glossaries or dictionaries to help me use the new language.
32. I take notes in class in the new language.
33. I make summaries of new language material.
34. I apply general rules to new situations when using the language.
35. I find the meaning of a word by dividing the word into parts which I understand.
36. I look for similarities and contrasts between the new language and my own.
37. I try to understand what I have heard or read without translating it word-for-word into my own language.
38. I am cautious about transferring words or concepts directly from my language to the new language.
39. I look for patterns in the new language.
40. I develop my own understanding of how the language works, even if sometimes I have to revise my understanding based on new information.

## Part C

41. When I do not understand all the words I read or hear, I guess the general meaning by using any clue I can find, for example, clues from the context or situation.
42. I read without looking up every unfamiliar word.
43. In a conversation I anticipate what the other person is going to say based on what has been said so far.
44. If I am speaking and cannot think of the right expression, I use gestures or switch back to my own language momentarily.
45. I ask the other person to tell me the right word if I cannot think of it in a conversation.
46. When I cannot think of the correct expression to say or write, I find a different way to express the idea; for example, I use a synonym or describe the idea.
47. I make up new words if I do not know the right ones.
48. I direct the conversation to a topic for which I know the words.

## Part D

49. I preview the language lesson to get a general idea of what it is about, how it is organized, and how it relates to what I already know.
50. When someone is speaking the new language. I try to concentrate on what the person is saying and put unrelated topics out of my mind.
51. I decide in advance to pay special attention to specific language aspects; for example. I focus the way native speakers pronounce certain sounds.
52. I try to find out all I can about how to be a better language learner by reading books or articles or by talking with others about how to learn.
53. I arrange my schedule to study and practice the new language consistently, not just when there is the pressure of a rest.
54. I arrange my physical environment to promote learning; for instance. I find a quiet comfortable place to review.
55. I organize my language notebook to record important language information.
56. I plan my goals for language learning. for instance. how proficient I want to become or how I might want to use the language in the long run.
57. I plan what I am going to accomplish in language learning each day or each week.
58. I prepare for an upcoming language task (such as giving a talk in the new language) by considering the nature of the task, what I have to know, and my current language skills.
59. I clearly identify the purpose of the language activity); for instance. in a listening task I might need to listen for the general idea or for specific fact.
60. I take responsibility for finding opportunities to practice the new language.
61. I actively look for people with whom I can speak the new language.
62. I try to notice my language errors and find out the reasons for them.
63. I learn from my mistakes in using the new language.
64. I evaluate the general progress I have made in learning the language.

## Part E

65. I try to relax whenever I feel anxious about using the new language.
66. I make encouraging statements to myself so that I will continue to try hard and do my best in language learning.
67. I actively encourage myself to take wise risks in language learning. such as guessing meanings or trying to speak, even though I might make some mistakes.
68. I give myself a tangible reward when I have done something well in my language learning.
69. I pay attention to physical signs or stress that might affect my language learning.
70. I keep a private diary or journal where I write my feelings about language learning.
71. I talk to someone I trust about my attitudes and feelings concerning the language learning process.

## Part F

72. If I do not understand, I ask the speaker to slow. down, repeat, or clarify what was said
73. I ask other people to verify that I have understood or said something correctly.
74. I ask other people to correct my pronunciation.
75. I work with other language learners to practice, review, or share information.
76. I have a regular language learning partner.
77. When I am talking with a native speaker. I try to let him or her know when I need help.
78. In conversation with others in the new language. I ask questions in order to be as involved as possible and to show I am interested.
79. I try to learn about the culture or the place where the new language is spoken.
80. I pay close attention to the thoughts and feelings of other people with whom I interact in the new language.

## A.2. SILL based awareness activity

目的:

ストラテジーに関連する必要語彙、表現を使いながら、ストラテジーとその効果について考えさせる。

教材:

SILLの日本語版ハンドアウト

時間: 30分

手順:

1. Group Work on class survey (20分)

1.1. 語彙や表現を確認した後、各グループでお互いに下記のような質問をし、アンケートをとり、結果をメモする。

- ・ A、B、C、D、E、Fの中で、平均点 (average score) が一番高かったパートはどれでしたか。
- ・ A、B、C、D、E、Fの中で平均点 (average score) が一番低かったパートはどれでしたか。
- ・ どのストラテジーをよく使いますか。
- ・ どのストラテジーはあまり使いませんか。

1.2. 他のグループの学生に同様のインタビューをするが、グループのメンバーみんなが違う人をインタビューする様あらかじめ誰が誰をインタビューするか決める。

1.3. 他のグループの人をインタビューする。

1.4. 自分のグループに戻り、結果を報告し、ハンドアウトに結果を記入する。

1.5. 最後に結果を発表させ、クラスの結果を確認する。

例:

このクラスのみんなで、平均点が高いパートはパートは～で、低いのは～です。みんながよく使うストラテジーは～ことや～ことです。あまり使わないものは～ことや～ことです。

2. Pair Work on Strategy use (15分)

SILL全体を見て、自分やクラスメートがもっと使った方がいいと思うストラテジーについてお互いに話し合わせ、どうしてそう思うかも聞きあい、後で発表させる。。

## Handout: Worksheet for Class Survey on SILL

Direction: Tally the survey results in the following chart.

	.	&	(	)	,
6 2 5 / 3 . 1 . 0					
6 2 5 / 4 . 1 . 0					

Direction: Write the number associated with strategies that fits in the following categories and tally the number of respondents:

・よく使うストラテジー（ストラテジーの番号を書くこと）

・あまり使わないストラテジー（ストラテジーの番号を書くこと）

### A.3. Factors affecting language learning

目的:

言語習得に影響する要因について考える。

教材：ハンドアウト、6枚の紙からなる紙ボール。それぞれの紙にストラテジー、勉強する言葉、好ききらい、日本語を勉強する目標、性格、国や文化のどれかが書いてあり、たまねぎのように一枚の上ボールを他の紙で包むようにしたもの。

時間：30分

手順:

1. ハンドアウトを配る。ハンドアウトの項目「ストラテジー」と「勉強する言葉」を使って、ペアワークの前の前作業をする。それぞれについて、学生に意見を出させながら、教師が比較したものを板書してみせたりし、考えをまとめた後にペアワークをさせる。残りをペアで行う。

会話例：勉強する言語

A: スペイン語と日本語の勉強のし方は違うと思います。

例えば、日本語は文字の書き方をたくさん勉強しなければなりません、スペイン語は英語と同じなので勉強しなくてもいいです。ですから、勉強する言語はストラテジーの使い方と関係があると思います。

B: 私もそう思います。それに、日本語は～が、スペイン語は～です。

or 私はそう思いません。

2. ペアで、ハンドアウトの6つの項目に関して、例以外の比較(例えば中国と日本語などが対象言語の場合)を考えさせる。
3. 3、4人のグループに分け「紙ボール」をそれぞれのグループに渡して、投げあわせる。ボールを持った人はそのボールの一番外側の紙を取って、そこに書かれてあるfactorを読みあげて、ペアで考えた要因や他のものをいう。
4. グループで言語習得に影響する要因には他にどんなものがあるか(年齢、教授法、タスク、性別、動機の強さ、適正等)、またどう影響するか考えさせ発表せる。

## Handout: Worksheet for Factors Affecting Language Learning

### ストラテジー

「いろいろなストラテジーを知っている人は、ストラテジーを（たくさん使える・少ししか使えない）と思います。ですから、いろいろなストラテジーを知っているかどうかは（大切だ・大切じゃない）と思います。」

### 勉強する言葉

例：\_\_\_\_\_語 vs. 日本語

「\_\_\_\_\_語と日本語の勉強のし方は（同じだ・違う）と思います。

たとえば、日本語を勉強する時、\_\_\_\_\_が、  
\_\_\_\_\_語を勉強する時、\_\_\_\_\_。

ですから、勉強する外国語と勉強の仕方は関係が（ある・ない）と思います。」

### 好ききらい

例：漢字が好きな人 vs. 漢字がきらいな人

「漢字が好きな人と漢字がきらいな人の勉強のし方は（同じだ・違う）と思います。

例えば、漢字が好きな人は\_\_\_\_\_が、漢字がきらいな人は\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_かもしれません。

ですから、好ききらいと勉強のし方は関係が（ある・ない）と思います。」

### 日本語を勉強する目標もくひょう (goal)

例：日本語の新聞を読むことが目標 vs. 日本人と日本語で話すことが目標

「日本語の新聞を読むことが目標なら、\_\_\_\_\_なければなりません、日本人と日本語で話すことが目標なら、\_\_\_\_\_なくてもいかもしれません。ですから、勉強する目標と勉強の仕方は関係が（ある・ない）と思います。」



せいかく  
性格

例：よく話す人 vs. 静かな人

「よく話す人と静かな人の勉強のし方は\_\_\_\_\_と思います。例えば、よく話す人は  
\_\_\_\_\_が、しずかな人は\_\_\_\_\_かもしれません。ですから、  
\_\_\_\_\_関係が\_\_\_\_\_と思います。」

くにやぶんか  
国や文化

アメリカ人 vs. 日本人

「アメリカ人と日本人の外国語の勉強のし方は\_\_\_\_\_と思います。例えば、アメリカ人なら\_\_\_\_\_かもしれませんが、日本人なら\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_かもしれません。ですから、\_\_\_\_\_と思います。」

#### A.4. Good language learners

目的:

言語を効果的に習える条件について考える。

教材:

Rubin の Characteristics of Good Language Learners の日本語版

参考文献: Rubin, J. (1975). What the good language learner. can teach us. *TESOL Quarterly*, 9, 41-51.

時間: 25分

手順:

- 1 Rubin の Characteristics of the Good Language Learner. の日本語版のハンドアウトを配り、声を出して読ませ、意味の確認。
- 2 「～に賛成です／反対です／～からです」の表現がつかえることを確認した後、学生をペアにする。賛成か反対か話し合わせる。この時、どうして賛成か反対か考えさせる。後で発表させる。

会話例:

A: 言葉の勉強が上手な人は～(plain form) と思いますか。

B: はい、そう思います。or いいえ、私はそう思いません。

A: どうしてですか。

B: ～からです。～さんはどう思いますか。

A: 私は／もこの意見に賛成／反対です。～だと思うからです。

- 3 Rubin の意見は主に英語の学習について書かれたものであることをいい、日本語を勉強する時も全く同じかどうかペアかグループで話し合わせる。
- 4 日本語を上手に習う人の特徴を書かせる。

## Handout: Characteristics of Good Language Learners (Rubin, 1975)

ルービンさんによると言葉を習うのが上手な人は下のような人だそうです。

1. よく<sup>すいそく</sup>推測する。そして、正しい<sup>すいそく</sup>推測をする。
2. よく会話をして、会話をしながら、いろいろなことを勉強する。
3. 明るくてよく話す人だ。
4. 話しながらフォームに気をつけている。
5. よく練習する。
6. 話している時に、自分や相手言葉が<sup>まちが</sup>間違っていないか気をつけている。
7. 単語の意味に気をつけている。

## A.5. Language learning style, using ELSIE(in English and Japanese) and goal setting

目的:

自分の学習スタイルを把握し、これからどのように学習していくか目標をたてる。

教材:

ELSIE の英語版と「日本語の勉強のしかた」のハンドアウト。英語版は下記を参照。

参考文献: Weaver, S. J. and A. D. Cohen. Strategies based instruction: A teacher training manual (pp. 100-104)

時間: 50分

手順:

### 1. ELSIE

1.1 英語の ELSIE をおこなう (やり方は Instruction に沿う)

1.2 結果にある 4 項目を日本語で紹介する。

「頭の中でイメージすること、文字を使うこと、聞くこと、体を使うこと」を黒板に書く。項目ごとに関連のある単語ブレイクアウトさせながら導入する。

「頭の中でイメージすること。」→絵、グラフ、チャート、表、映画、テレビ (番組)

「文字を使うこと。」→単語、文法、教科書、作文、辞書 (を引く)、ノート (を取る)

「聞くこと。」→テープ、ビデオ、(日本人との) 会話、自分の声、～をテープにとる

「体を使って勉強する。」→声を出す、発音、ジェスチャーをする、書く友達と話す

1.3 スコアの低かった項目ごとに手をあげさせて、項目ごとに 3～4 人のグループに分ける。(もし、1つの項目に学生が固まるようなら、二つに分ける)

1.4 各項目ごとにグループで日本語の Study suggestion を声をだして、読ませる。意味が分からないものに関しては意味を推測させる。

1.5 全体で意味の確認。また、グループになり次の項目に移る。

1.6 ペアで自分がするようにしなければならないことを話し合わせ、発表させる。

会話例:

A: 私はこれから～ようにしたいです。

B: そうですね。私も／私は～ようにしたいです。

### 2. Goal Setting

2.1 下のような例を用いて、各自にそれぞれのゴールを立てて、紙に書くよう指示する。

例:

Q: 今学期の終わりまでに、日本語の勉強の中でがんばりたいことはどんなことですか。  
日本語の単語をたくさん覚えたい。

Q:2 そのために何をしようと思いますか。

フラッシュカードを使って覚えようと思う。

単語を声を出して読みながら、書いて覚えようと思う。

覚えるために、文や会話の中で新しい単語を使うようにしようと思う。

## Handout: 日本語の勉強のしかた

そうぞうりよく

### 想像力 (creativity) をのぼすために :

1. チャートや表、グラフを作って、勉強する
2. 単語や漢字を覚えるために、絵をかいたり、頭の中でイメージを作る。
3. 頭の中で言葉の構成 (composition/structure) のイメージを作る。
4. 教科書や読み物の絵や表をよく見る。
5. マーカーやいろいろな色のペンを使ってノートを取る。
6. 日本語の映画やテレビを見る。そして、ジェスチャーに気をつける。

### 書く力 (writing ability) をのぼすために :

1. 毎日予習する。
2. 毎日クラスでノートを取る。先生や日本人の友達に質問することを書いておく。
3. 授業の後、教科書を毎日読む。
4. 教科書じゃないものを読む。単語や文法に注意しながら読む。
5. / 作文をする前に、そのトピックに関係のある言葉を考える。そして、アウトラインを考える。
6. CRIB SHEETS を作る。試験のない時に、CRIB SHEETS を使って勉強する。

### 聞く力 (listening ability) をのぼすために :

1. ノートを取らないで、よく聞いてみる。それから、クラスメートと何が分かっているか話すようにする。そして、相手のノートのコピーを取る。
2. 授業をテープに取って、それを聞いて勉強する。
3. 日本語が話せる人とできるだけ話すようにする。
4. 勉強している時に、声を出して、読んだり言ったりする。
5. スタディーグループを作って、友だちと勉強する。
6. 目を閉じて、外国語のテープを聞いたり、ビデオを聞きながら、イメージする。

アクティビティーを中心とした学習 (activity based learning) をするために：

1. 日本語クラブ、日本の新聞や雑誌を買う。そして、鏡の前で発音の練習をする。
2. 読む前に、ノートを取ったり、アンダーラインをしたりする。そして、読み物と自分が知っていることを関連づける。今まで勉強した言葉がどこでどう使われているか考える。何が分からないか考える。声を出して、読み物を読む。
3. スタディーグループを作る。先生のオフィスアワーによく行く。授業の外で、日本語を友達と練習する。
4. 体を使って勉強する。勉強している時に、立ったり、読んだり、ジェスチャーをしたりする。
5. 単語のフラッシュカードを作って、カードに意味と音とイメージを書く。そして、書いて、言いながら覚える。
6. 日本語で自分に話す。